

平和活動実行委員長 菅原 和子

原爆投下65年目の8月6日、広島市主催の平和祈念式典の後、広島市女連では恒例の「嵐の中の母子像供養」と「マルセル・ジュノー博士記念碑」前で献花、折り鶴献納、黙祷、原爆許すまじ合唱の式典を行いました。歌声が世界に届きますように...

夜は、平和大通り沿いの春日型石燈籠に灯を入れ、参列者全員が静かに世界平和を祈念いたしました。今年も暑い一日でした...



嵐の中の母子像供養



マルセル・ジュノー博士記念碑



献灯式

### 全国ボランティアフェスティバル開催!

中区本川女性会 田中 八重子

第19回全国ボランティアフェスティバルひろしまが、【つながる民力 いかしあう民力】をテーマに9月25日(土)・26日(日)の二日間で広島国際会場を中心に開催されます。

1日目:テーマトーク【民力による社会問題への挑戦】がパネルディスカッション形式で行われボランティア活動・市民活動の動向を確認しつつ、孤立や孤独による暮らしにくさを和らげ、支援するための取り組みを紹介しながら、活動を【おこす】【つなぐ】【伝える】必要性が提案されます。

2日目:22の分科会が開催されます。市女連の担当は14分科会 地域が変わる!?子どもが主役の福祉学習〜ぼくら・うちらが発信する福祉のこころ〜と題して午前9時30分より12時30分まで国際会議場コスモス②で開催いたします。

約1年間会議を持ち福祉教育の中の内容を決定し広島らしいことばやテーマを作成しました。子どもたちができることを活かした活動を通じて、人や地域が変わっていく取り組みを紹介し、これから大人がどんな関わりをしていけばよいかを皆さんと考えます。

様々な分科会が、繰り広げられます。ボランティアとは何かが見えてくる大会だと思います。是非足を運び下さいますようご案内致します。

### リレー随筆

#### ご当地ソング祇園音頭に出会って

安佐南区祇園女性会 堀越 隆江  
平成18年、商工会が新たな町おこしとして、地元の歌を作る計画をしていたところ、30数年前の「祇園音頭」のソノシートが見つかりました。早速「祇園音頭」復活作戦に取り組み、町内各団体、公民館などに、ご当地音頭として普及に努め、今では小学校・高校から依頼を受け、町民運動会や町内のイベントにも出演しています。この踊りを通して、老若男女の大きな輪となり、「町づくり」の一環になるよう希望します。

#### 男女共同参画事業に活動の輪

安佐南区安学区女性会 龍木 壽美子  
平成20年度から公民館の男女共同参画事業の企画に女性会も参加し、男の料理「そば打ち体験」を応援し、公民館ふれあいまつりでデビュー出店をしました。  
男女共同参画講座では、「女性の社会参加、男性の家庭参加、地域参加」を深め、男女が共有しながら、このまちに生涯住むために、健康づくり・福祉問題の地域一体で取り組みの必要性などの話し合いを行いました。

手をつなぐ女性会からあなたへ



# きょうちくとう

【編集・発行】 広島市地域女性団体連絡協議会  
【発行責任者】 吉岡 恭子  
【編集担当】 安佐南区女性会

〒730-0052 広島市中区千田町1-9-43  
電話(082)243-3274 FAX(082)243-3270

### 広島市女連女性大会を前に

広島市女連会長 吉岡 恭子

広島市女連は、活動目標に3つのテーマを掲げています。そのテーマを題材として、毎年10月に大きな講演会を企画します。それが市女連女性大会です。

昨年、一昨年は、男女共同参画がテーマでした。皆様ご記憶のことと思います。今年度は青少年育成問題を取り上げました。



今年の女性大会は、講師に木村まさ子先生をお招きし、食育からみえてくる子育てのありかたを皆様とともに学んでいけたらと思っております。女性会員として何が出来るか、何をしたらいいのかわか、今一度考えて参りましょう。どうぞ、お誘い合わせのうえ、ご参加ください。

### 平成22年度 広島市女連女性大会 ご案内

- 日 時 平成22年10月8日(金) 開場12時30分  
13時~15時30分(終了予定)
- 会 場 アステールプラザ 中ホール
- 講 師 木 村 まさ子 先生
- 演 題 「育み はぐくまれ」

### ことのは語り



心と体にやさしい料理を提供するレストラン経営の体験からいのもていただくことを意識して食べるのがいかに大切か伝えている。食育・食の原点とは、言葉には力が想いがあります。そして、大切な大切なものは日々の中にあたりまえに存在します。それらは眼にすることも触れることも出来ません。又、いのちの繋がりを自覚出来たとき素直に謙虚に自分を受け入れ愛することが出来る。そして人を素直に愛することが出来る。その、いのちの根を心の根を育む大切なものは語りかけている。医師の日野原重明先生の「10代の命の授業」にも協力。講演で全国を回っている。最近は朗読会にも力を入れている。

# 第57回 全国指定都市 地域女性団体連絡協議会 研究集会 開催される!



去る6月9～11日の三日間、名古屋市において第57回全国指定都市地域女性団体連絡協議会研究集会が開催されました。広島市より会長他7名の参加、行政からも市民局生涯学習課より三谷主査が出席してくださいました。まず、女性会会員の減少が深刻化していることが各都市の大きな問題点としてとりあげられました。会員増加に向け各都市が頭を悩ませているようです。広島市も例外ではありません。男女共同参画社会の実現や、環境問題、青少年育成問題への取り組みなど、女性会の力が一層求められている昨今ではないかとの意見もありました。私たち女性会は学習と実践を積み重ねることにより女性の視点

から問題解決を進めていくことの出来る大きな団体であることを実感しました。

しかし、そこに今回の基調講演の中にあつた「伝える」ことを組み込むことで、さらに大きな力が生まれることに気付かされました。

他都市との情報交換の中で「地球規模で考え、地域で行動する」「次世代につながるための智と力の発揮」を念頭に地域力の向上をめざそうではないかと、熱心に討議されました。

広島市は他都市より会員も少なく規模も小さいですが、広島市らしい元気で、パワーのある発表をして、帰路に着きました。広島市女連会長 吉岡 恭子



## 第57回全国指定都市地域女性団体連絡協議会 研究集会 基調講演：相山女学園大学 東 珠実教授

自分のため、人のため、地域のために～「つなげる」をキーワードに～

地域の「つながり」が弱くなっている現状を踏まえ、『つなげる』ことの重要性について調査データを基に3つ視点から講演されました。

### 1 男女共同参画社会の実現のために『つなげる』

女性団体が女性と男性と地域をつなぎ男女共同参画社会の実現のための5つの『つなげる』⇒「①男女の人権の尊重」「②固定的役割に依拠する慣行等の見直し」「③家庭生活における活動と他の活動の両立支援」「④DV、セクハラ等の防止、対応」「⑤政策等の立案及び決定への共同参画」

### 2 子育て支援・子どもの健全育成のために『つなげる』

女性団体が子ども、母親、子育て世帯と地域をつなぎ子育てを支援し次世代を育成するための5つの『つなげる』⇒「①子どもの健全育成」「②子どもの安全確保」「③母親の育児相談」「④子育て家族の支援」「⑤子どもへの文化伝承」

### 3 循環型社会の構築のために『つなげる』

女性団体がすべての市民・住民と地域をつなぎ循環型社会を構築するための5つの『つなげる』⇒「①低炭素な暮らし」「②3Rの徹底・促進」「③価値観の転換」「④親自然と自然保護」「⑤グリーンコンシューマーの育成」

また、女性が「つながって変える!」「女性が社会を変える!」と講演くださいました。

最後に文部科学省生涯学習政策局男女共同参画推進係長 川上恵子様より、『つながり』というのは女性団体を語るうえで重要なキーワードの一つです。男女共同参画・子育て支援・循環型社会の構築につながる。日々の活動と人のためだけでなく自分の人生を豊かにするための精神を次世代につなげて、この活動を絶やさないでいただきたいと願っておりますと講評をいただきました。

広島市女連副会長 林 敬子

### 第1分科会 「環境型社会の構築」報告

環境委員長 向井 春代

私の所属する環境委員会は「循環型社会の構築」について、というテーマで討議が繰り広げられました。

勉強し、実践し、実働した発表は与えられた5分間では納まらない思いのこもった事例ばかりでした。

広島市女連は環境家計簿、生ごみ減量、レジ袋削減、エコ生活「おばちゃんのお恵袋」などの取り組みについて発表しました。

他都市では女性会の域を越えた発案や細分化したデータの収集など目を見張るような発表も沢山ありました。最後に相山女学園大学 東 珠実教授が、CO<sub>2</sub>削減に向けて「生活全般で意識してトータルで減らす」「出来るだけ簡単な方法で世代毎にやり方を考える」

「誰でも出来る」「みんなで続ける」ことが大切だと総評されました。



### 第2分科会 「男女共同参画社会の実現」報告

男女共同参画推進委員長 田中 武子

男女共同参画の実現に向けて、各都市からの活動報告がありました。

- ・私たちが女性会は、学習・実践することにより、地域での役割、市民への啓発、DVの防止など、大きな役割を担っている。
- ・家族への感謝の気持ちを持って、手をつないでいくことが大切である。
- ・女性、男性ともに自立していく。
- ・男性を巻き込んだ活動など、わずかではあるが浸透している。

各都市共通課題として…

- ・学習が大切である。・会員の自覚と意識統一を図るため努力する。
- ・DV問題の理解、DV被害者支援への努力が必要である。
- 中には、被害者に向けて相談カード設置。大阪市は夕陽丘基金の設立。広島市はなでしこ募金の設立。など、積極的な行動を示している都市もあった。

以上のような大きな課題を提示して会は終了しました。広島市女性会でも会員一体となって、男女共同参画問題に取り組んでいきたいと思われました。



### 第3分科会 「子育て支援・次世代育成」報告

青少年育成問題・子育て支援委員長 原田 慧子

各都市の活動報告、目標などについて行政の方も交え、活発に意見交換を行い、色々工夫を凝らした取り組みが行われておりました。

- ①「挨拶、声かけ、見守り」運動の実践。
- ②伝統文化を継承するため、茶道、生け花、伝承遊びの実践。
- ③電話による子育て支援の実践。

最後に分科会委員長からは「つなげる」をキーワードに子ども達は地域で育て実践する。日々の活動も人のためではなく自分のため自分の人生を豊かにするためにという精神・女性の知恵と力を次世代につなげようをまとめとされた。

広島市女連平成22年度の目標は、広島市青少年支援メンター制度では研修会に参加、食育の大切さを考え、食を通して子ども達へ与える影響にも着目し、親子でどのように関わっていくか議論・実践していく。又、地域の保護者に対してアドバイスできる環境(居場所)作りが必要と考えています。実現が困難なのが実情です。これは今後の大きな課題として報告します。

